

女性技術者としての挑戦と活躍

株式会社 TOSYS
長野通信システム事業部 施工部門 ユーザ担当
錦織 美紀さん



1. はじめに

私は2015年4月に株式会社TOSYSに入社し、今年で6年目となります。新入社員研修ではアクセス工事や開通工事に同行し、現場での実習、ITEA東日本研修センターで線路の基礎知識を習得しました。その後のOJTではケーブル架渉や心線接続の実務教育を受け、2016年からは希望した施工部門のユーザ担当へ本配属され、現在に至るまで主にお客様宅の開通工事に携わっています。

これまでの経験で学んだこと、これからの展望についてご紹介させていただきます。

2. 技術者になりたいと思ったきっかけ

文系の短大で学んでいた私が技術者を目指すきっかけとなったのは、在籍した学科での地域活性化イベントでした。

2011年に長野県北部地震の被害を受けた栄村の青倉地区というところに2日間滞在し、田植えや郷土食作りの体験をして栄村の魅力を発信しようという企画で、「農山村の暮らしと文化」を発信するためのリーフレット作りや、学祭で郷土食の販売を行いました。お世話になった地元の方々からは、「栄村をプロデュースしてくれてありがとう。」と感謝の声をたくさんいただき、自らの手で作ったもので地域を盛り上げ、感謝されたことがとても嬉しく、やりがいを感じました。この活動を通して、将来は地域に貢献できる仕事をしたいという思いを持つようになりました。

そんな中、就職活動中にTOSYSを知り“信越の通信



錦織 美紀さん

インフラを支える仕事”に興味を持ちました。また、森林整備活動やチャリティバザーイベントによる地域貢献活動に力を入れていることにも魅力を感じ、地域に根差した企業で、今や生活に必要な不可欠となった情報通信の基盤を支えることは何よりも地域への貢献につながるのではないかという思いから、通信建設業への就職を決めました。

入社当時は機械に弱く、PC操作にも自信がなかったため、仕事についていけなくなるのではないかという不安を抱えていました。しかし、「この仕事は誰もが1から学んでいくことだから心配いらないよ。」と声をかけてくれた先輩女性技術者の姿を見て、私も活躍できるかもしれないと勇気づけられました。

ユーザ担当の新人研修では、2週間協力会社の方の指導の下、光回線の開通現場を経験しました。そこで自ら手を動かして作業をする楽しさと、当時は難しく感じた光のコネクタ作成や機器の設定ができた時の達成感、開通した後のお客様からの「ありがとう。」の言葉が、これからの私の仕事のやりがいにつながるのだと確信し、



女性技術者

技術者を目指そうと思いました。

研修期間が終わった後、第一希望のユーザ担当への配属が決まり、やる気と期待で胸がいっぱいでした。

3. ユーザ担当への配属～女性複合技術者の活躍～

ユーザ担当の業務は大きく分けて2つあり、お客様の建物に開通工事を行う現場の仕事と、お客様や現場作業員からの問い合わせの対応など、現場サポートをするデスクでの管理業務の仕事があります。今後、先輩社員同様ユーザ部門で現場とデスク、それぞれの業務を担う存在になっていくために、作業の手順や工法に関する技術と知識をしっかりと身に付けていかなければなりません。そのため、まず現場の仕事を知るために、最初の2年は協力会社の方の指導の下、開通現場に同行し、いろいろな施工者の方から指導を受けました。1つとして同じ現場はなく、人それぞれ仕事の進め方が違うので、初めは仕事を知ることで精一杯でした。しかし、たくさんの施工者の方から指導を受けたことで、より多くの考え方や技術を吸収することができたと感じます。

そして3年目に職長訓練を受け、班長として現場を担当できるようになりました。同年にユーザ部門へ配属された後輩と2人で女性の直営班を組み、マンションの開通を中心に初めて単独で現場を回りました。

4年目以降はデスク管理の仕事も担当するようにな

り、現場で培った技術やコミュニケーション力などを駆使して、お客様や現場作業員からの問い合わせに対応しています。

ユーザ工事に携わって5年になりますが、女性の工事者ということで、開通現場では未だにお客様から珍しく思われることが多くあります。業界全体の数から考えると、まだまだマイノリティな存在なのかもしれませんが、私自身は現場作業をする中で、自分が「女性」であることを特別意識していません。なぜなら身近に仲間がたくさんいるからです。

TOSYSでは数年前から女性班の育成に力を入れていて、多くの女性技術者が現場で活躍しています。ユーザ担当には現在女性技術者が5名おり、工事者として現場に出たり、これまでの現場経験を活かして、デスクでの管理業務を担当したりしています。悩みや不安が0ではありませんが、皆で情報を共有し、お客様対応などでは女性ならではの細かい気配りを活かしながら、これからさらに活躍の場を広げていきたいと考えています。

4. 仕事で心掛けていること

仕事で心掛けていることは、安全についてです。私の仕事は脚立やバケット車を使用した高所作業や、お客様の回線が輻輳するMDF、クロージャでの接続作業など少しの間違いで重大な人身事故や設備事故につながる作



現場での作業風景



出発前ミーティング風景

業が多くあります。そこで、「多分、無理すればここに脚立かけられるよな。」とか「多分、こういう工法だったよな。」といった曖昧な知識のまま工事を行うことがないよう、少しでも不安と感じたら手を止めて、班長や上司に相談すると決めています。

以前、直営班としていつも使用している軽バンに乗ってマンションの開通工事に行った時のことです。事前情報ではバケット車がなくても開通できる予定でしたが、実際に現場に到着すると、IFドロップ光ファイバーを入線するエアコンのダクトが、ベランダで脚立に上り身を乗り出さないと届かない場所にありました。二階のお部屋だったこともあり、危険な作業になると感じ、バ

ケット車で動いている班の人に連絡し、支援に来てもらいました。忙しく動いている工事者の手を止めてしまうので、応援を呼ぶのは申し訳ないと思ってしまうのですが、装備や技術面、体力的なことで助けてもらったら、今度はお返しに知識で相手の役に立てるように勉強しようと考え、常に協力しあって業務がスムーズに安全に進むように心掛けています。

5. 仕事で大変なこと

仕事で大変だと感じることは、2つあります。1つ目は日替わりでさまざまな業務に対応していかなければな

らないということです。これは一例ですが、この日は現場が忙しいから協力会社さんに同行し現場へ、次の日は工事が落ち着いているからデスクのサポートを、またその次の日は予定していたビジネスホンの工事があるから前日に設定して現場へ、そして来週からは他の事業所に出張、といったように、1週間同じ仕事が続くということがほとんどありません。幅広く業務経験を積めるというメリットもありますが、日々変わる業務に柔軟に対応しなければならず、慣れないうちはとても苦労しました。しかし、前日のうちに翌日の作業内容を確認し不安要素を洗い出して対策をしておくことで、当日の作業がスムーズにできるようになりました。

2つ目は現場作業において男性との体格や筋力の差を感じる場面があることです。バケット車が使えない場所で昇柱をして接続作業をするときに、身体を安定させて長時間柱の上にとり、体勢を整えたりするのは非常に体力を使う作業です。また硬い壁にクリート留めをしながら配線したり、重たい梯子を持って移動したりと大変だと感じる場面がいくつもあります。しかし、一緒に作業をする班長が、重いものを持つときの重心の取り方や、作業時の楽な体勢をアドバイスしてくれるなど、体格や筋力面で男性より劣るところをカバーできるように教えてくださることに感謝しています。

6. 仕事で一番嬉しかったこと

現場で作業をしていると「女性の工事者は初めてみた。」や「かっこいいね、これからも頑張ってるね。」といった声をかけていただくことがしばしばあります。お客様からの温かいお言葉はどれも本当にうれしいのですが、その中でも特に印象に残っているのは、2年ほど前に光回線の開通工事に立ち会ってくださった女性のお客様からいただいたお言葉です。

そのお客様は私が工事者であることを知ると「どんな学校を出たの?」「機械をいじるのがすきなね。」と興味を持って話しかけてくださりました。わたしが「技術者になりたいくて、会社に入ってからいろんなことを勉強

して仕事をしています。」と答えると、そのお客様は「女性がこういう分野で活躍しているのを見ると、私もほかの分野に挑戦する勇気をもらえるわ。」と言ってくださりました。技術者になりたい!という思いで自ら選択し、無我夢中で技術や知識の習得に励む中で自分の歩みが誰かに勇気を与えることができたことに驚き、そしてとてもうれしかったエピソードです。いま、何か課題にぶち当たった時は、その時のことを思い出して自分を奮い立たせています。

7. これから挑戦したいこと～技術の継続的習得～

情報通信が重要インフラに位置付けられた世の中で、技術を身につけ現場で発揮できることにやりがいと使命感を感じています。常に最新の技術に追いついていかなければならない焦りもありますが、その分、達成した時の喜びはひとしおです。現在はビジネスホンの設置や新たに施工が始まった高速広帯域の工事の勉強中です。ビジネスホンは実際の現場で使用されている古い機種や配線に手を加えなければならない工事もあるので、既存の技術にも1人で対応できるようになることが目標です。常にアンテナを張って重要な情報を見逃さないようにし、これからも多くの技術・知識を学んでいきたいです。

8. おわりに

学生時代、通信建設工事とは全く無縁だった私がこの世界に飛び込んで5年、ユーザ工事の技術者として今も勉強する毎日です。さまざまな現場で、さまざまな人と協力しながら日々変わっていく環境の中、常に最新の技術力を保持することは、決して簡単なことではありません。しかし、同じ女性技術者の先輩や後輩に囲まれ、仲間と助け合いながら、目標に向けて頑張れる日々はとても充実しています。

これからもお客様に信頼していただけるように、より多くの技術と知識を学ぶのはもちろん、先輩や後輩から頼られる技術者を目指して努力していきます。